

優先順位	改善項目		改善目標	改善に向けた計画内容	期間	評価(平成19年 2月 19日現在)
	自己	外部				
1	27	22	職員は常に利用者一人一人の人格を尊重し、誇りやプライバシーに配慮して環境を整える。	以前、利用者の方(女性)が脱衣されている際、他の利用者が掃除機をかけながら中に入って来られたことがあった。故意ではないがプライバシーに配慮していく必要がある。その為、入浴時に脱衣コーナーの出入り口に「入浴中」の札をかけたたり職員が注意して対応する。	随時	掃除機をかけていただく利用者の方は、故意ではなくお互いがびっくりしていた様子。職員が気が付くのが遅くなり反省し、職員同士の話し合いを持ち、注意していくようにしたい。そうすれば、利用者一人一人が安心した生活が望めるのではないかと。そのことを話し合う予定。
2	14	11	フロアでの生活環境を整備し、過ごしやすい空間を作っていく。	時々、利用者によってはテレビの音が聞こえにくい為に音量を上げる。その方によっては心地よく思われるが雑音にしか聞こえないような方もおられる。落ち着いて暮らしていただく為には音についての配慮が必要である。テレビもなんとなく付けておくのではなくて利用者の希望に合わせて付ける。音量についても大きくなくても聞こえる場合もあるので確認していく。その時々によってこまめに音量を調節していくよう気をつけていく。	随時	利用者さん一人一人音についてさまざまなとらえかたがあると思う。職員は利用者が認知症の方なのでその事がストレスになったり、周辺症状が起きる方もおられることを認識していく必要があると思われる。そして生活の音(食事の用意や心地よい音楽)を活かしていけるようにミーティングの際に話し合う予定。
3	64	40	満足な買い物を支援する。	利用者の方の生きがいを持って生活をしていただくために一人でも買い物に行けるようであれば、家族職員間の了解のもとで買い物に行っていただくよう支援していく。職員と一緒にでもかまわない方については一緒に買い物に行く。	随時	目的のある買い物や行きたい場所などは簡単には分からないと思う。それは、職員が行きたいのではなくて利用者の方が”行きたい””したい”である。ご本人さんが直接訴えられる方ばかりではない為、日々十分なコミュニケーションをとる。会話の中からどんなちいさなことでもヒントにして”したい””やりたい”を発見していくように心がけていく。そのことを職員間で話し合う予定。
4	22	17	カンファレンスに家族、ご本人の参加を促し、介護計画への利用者・家族の意見を反映し、相談しながら作成する。	カンファレンスの際にはその都度家族、ご本人さんへ呼びかけを行い参加されるように促がしていく。	カンファレンス開催時	ご面会時や行事に参加された時などにカンファレンスの呼びかけを行ない気軽にご意見をいただけるような雰囲気作り心掛ける。